

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

カールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン
例会日 月3回 水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2025年2月12日 第2570回例会 VOL.56 No.23

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	66.67%	修正出席率	80.95%

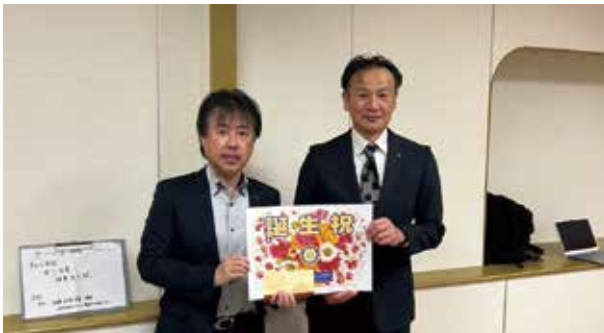
■本日の欠席者

日向、中谷、新川、二宮、関澤、福村、宋

■オンライン出席 草柳

■他クラブ出席 新川 (地区、川崎北 RC)

■誕生日祝い 佐藤 真吾 2.6



■米山功労者 (第6回) 佐藤 利明 会員

■PHF 佐藤 真吾 (2回) 岡田 隆



■会長報告 北澤 正浩

みなさんこんにちは。

本日もお忙しい中、例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

さて、今シーズン最も強い寒気の影響により、今月3日から9日にかけて各地で雪が強まりました。日本海側を中心に、普段は雪の少ない太平洋側でも記録的な大雪となった地域がありました。急激な降雪量の増加により、多くの地域で平年を上回る積雪となり、交通への影響や雪崩の発生が報告されています。

ここ横浜では近年大きな雪の被害はあまりありませんが、いつ降雪による被害が発生するかわかりません。私たちも日頃から備えを怠らないように心掛けることが大切です。皆様もどうかお気をつけください。

さて、本日は「MY ROTARY」について少し触れたいと思います。

皆様、ご存じだと思いますが、ロータリークラブのHPから利用できる「My Rotary」とは、ロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。特にクラブ会長、幹事、事務局職員の皆様にとっては、「ロータリー・クラブセントラル」を通じて寄付目標や会員増強目標の設定が可能となるほか、会員情報の管理（入退会の更新）、

半期報告書や人頭分担金の請求書発行など、クラブ運営に欠かせない機能が充実しています。

また、「My Rotary」は個々の会員にとっても有益なツールです。登録することで、ロータリーの最新情報を得ることができるだけでなく、世界中のロータリアンとの交流の場としても活用することができます。ロータリーの理念や活動についてより深く理解し、自身のクラブ活動にも積極的に反映させることが可能になります。

ロータリー会員であれば、ぜひとも「My Rotary」に登録いただき、このシステムを活用していただきたいと思います。また、地区からの指示により、会員全員の登録を目指すよう要請がありました。現時点で、2590地区全体の登録率は55.71%ですが、当クラブでは42.86%に留まっています。

登録は決して難しいものではありませんので、まだ登録されていない方は、ぜひこの機会にお試してください。登録方法について不明な点があれば、お気軽に私までお問い合わせください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■幹事報告 市川 慎二

※例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園 RC

25年3月25日(火) 花見会
「CAVORO CAFE」18時点鐘

○横浜南 RC

25年2月22日(土) 特別休会
3月29日(土) 創立記念例会・観桜会
ザ・ローズレジデンス 点鐘17:30

■親睦委員会 田川 富男

来月情報集会の2回目を開催したいと思います。3月にて集会、4月発表という予定で、前回とは違うメンバーで実施したいと考えています。次回例会にてメンバーを発表します。

■ニコニコ BOX

佐藤 真吾／①田川さんの卓話楽しみです。②先週は誕生日祝いをありがとうございました。

岡田 隆／①本日名誉ある賞を頂き、ありがとうございました。②田川さんの卓話楽しみです。

す。

田川 富男／本日の短い卓話ですが、宜しくお願ひ致します。

北澤 正浩／田川さんの卓話を楽しみにしております。

中島 徹／田川さん、本日の卓話、大変楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

関口 大樹／田川さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

佐藤 勉／田川さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

五十嵐 正／田川さん、本日の卓話宜しくお願ひします。楽しみにしております。

安藤 公一／田川さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

佐藤 利明／田川さん、本日の卓話（諸葛亮）久し振りに三国志の軍師の話し、楽しみです。

市川 慎二／田川さん卓話楽しみです。

■諸葛亮孔明は何物ですか？ 田川 富男

久しぶりの一般卓話をさせていただきます。本日は時間制限がありとの事にて以前の5分卓話方法で進めさせていただきます。今日



日の卓話は、歴史探訪で三国志全般とは考えておりましたが30分でも足りないこと思い一点絞りにて【諸葛亮孔明】（しょかつりょうこうめい）について時間迄お付き合いのほどお願ひ致します。

諸葛亮孔明とは何者かです。今から1800年前の方で、皆さんも名前だけは認知されているとは思いますが。

まずは、諸葛亮孔明と言う名前に問題があります。孔明とは字（あざな）であり親しい人の間での名前で使用する呼び名です。諸葛亮か諸葛孔明が正しい名前とのことです。

では何をした人物なのかです。三国志を知らない人でも諸葛孔明の名を知っているとは思いますが。中国の漢が滅亡し国内が乱れ各地にて群雄割拠（ぐんゆうかっきよ）の時代に突入

する中にて、魏（ぎ）・呉（ご）・蜀（しよく）が【天下三分の計】となりました。

余談ですが、その時代で日本国内は弥生時代の末期で今だ、世界では認知されていませんから、卑弥呼は女帝としての邪馬台国の長（おさ）として世界的な立ち上がりが必要とする思いから【魏志倭人伝】（ぎしわじんてん）として、その当時の中国である「魏」に使者を向けました。その国は三国志の魏でした。

三国の魏（ぎ）・呉（ご）・蜀（しよく）の【天下三分の計】ですが魏は曹操（そうそう）孟徳、呉は孫権（そんけん）仲謀、蜀（しよく）には劉備（りゅうび）玄徳が別々に帝国を創立させました。諸葛孔明はご存知でしょうが、蜀の劉備玄徳の軍師として仕えることになりました。

そんな孔明ですが、初めはどの国にも所属する考えはありませんでした。むしろ自由気ままに生きていくことも希望していたとも考えられます。蜀に就職した孔明ですが、蜀の劉備はヘッドハンディングのため3回の訪問（何千キロの雪道を何日も掛けて）をして劉備の熱意と誠意を感じ取り快諾を致しました。それが慣用語の【三顧の礼】の語源です。

どうして、諸葛孔明は三国志（蜀）で何をして現在でも認知された存在に成ったのかです。群雄割拠の当時では優秀劣敗（今でも同じ）で軍師が活躍する時代でした。今では軍師という言葉は死語かも知れませんが、現在の類似職なら参謀（次官・官僚）と思われれます。軍師と参謀の違いは、軍師は軍略策だけでなく、政治や国策にもアドバイザーとして意見指示を示すことが出来る立場でした。また、軍師には占い師、陰陽師、天文学、易学等の知識が求められる人物でした。優秀な軍師は各帝国にも多く存在します。

そして、日本の軍師なら竹中半兵衛・黒田官兵衛・山本勘助・島左近などが有名だと思います。三国志での軍師は魏では程昱（ていぎく）・荀彧（じゅんいく）・司馬懿（しばい）中達、呉には魯肅（ろしゆく）、呂蒙（ろもう）、陸遜

諸葛孔明て何者ですか？

(しょかつりょうこうめい)

正式名は 諸葛 亮 諸葛 孔明
(公文書では) (親しい関係では)

今から 1800 年前 中国三国時代 蜀の軍師
【三国志】



(りくそん)。蜀に於いては徐庶（じょしょう）、龐統（ほうとう）、諸葛孔明が属していました。

その蜀の軍師として孔明が優秀と認められたかです。孔明が関与した有名な策略・軍策は、何と言っても「赤壁の戦い」〈揚子江・長江の対岸で蜀軍 100 万と呉蜀の連合軍 5 万が激突〉と考えております。ですが孔明が直接的に戦闘に出陣した訳ではなく、勝算ある戦いの構図を作り上げただけで勝利を得ました。

同じ三国とは言え魏の曹操軍は強く、そのためにも呉孫権と蜀劉備の連合軍が必要となり、諸葛孔明呉の策略と呉の魯肅と共謀して一時的な連合が結成されました。赤壁での戦いの主導権は呉將軍の周瑜公瑾（しゅうゆう・こうきん）が取りました。孔明が二国を接合させた事は大きな軍師の努力と判断されました。また多くの出来事も有りますが、自分としては諸葛孔明の魅力を感じる諺が、現在でも使用されている点です。

【泣いて馬謖を斬る】(ないてばしよくをきる)は諸葛孔明が軍の規律を守るために信頼する部下（馬謖）を処罰した時の気持ちを表し、現在でもことわざとして伝わっています。蜀の馬謖はどんな失敗をしたのかです。

孔明は実戦経験の少ない馬謖に勉強をさせる考えから、交通の要の場所を保守する仕事を任

した。本人からすれば通路確保と守りと言う軽微な役と自己判断をして、孔明先生に良い所を見せようと目的地と別の箇山頂上（富士山と同じ形状）（兵法では高見から攻撃は有利の思い）に陣を引きました。それが敗因でした。箇山の周囲を敵に囲まれて、水と秤量を断たれ兵士は意気消沈して敗北しました。そのために、敵に退路を取られ友軍が窮地に追い込まれることになりました。

【死せる孔明 生ける仲達を 走らす】（しせるこうめい いけるちゅうたつを はしらす）優れた人物は死んでも生前の威光を備えており、生きている者をさせるという意味です。

蜀の諸葛孔明は魏の司馬懿（仲達）（しばいちゅうたつ）と五丈原で対陣していました。諸葛亮は五丈原にて司馬懿との持久戦を続けることになった。諸葛亮は女の服を送り、司馬懿を女扱いするなど、さまざまな手を使って司馬懿を挑発して魏軍の出陣を誘った。諸葛亮は、司馬懿が出撃の姿勢を示して上奏したこと自体、諸將の不満を和らげるための策略に過ぎないと語っている。

蜀軍と魏軍の対陣は百日余りに及んだが、234年8月、諸葛亮は病死し蜀軍は撤退した。諸葛亮は生前にて、軍はそのまま出発するようにと命じていた。蜀軍の撤退を知った魏軍は追撃しようとしたが、蜀軍は反撃の形勢を示し、いかにも孔明が生きているように見せかけて、司馬懿は慌てて軍を退いた。人々はこれを揶揄して諺を作り「死せる諸葛、生ける仲達を走らす（死諸葛走生仲達）」と言った。後日、司馬懿は人伝にこのことを聞き、「私は生者のする事は推し測れるが、死者のする事は推し測れない（吾能料生、不能料死）」と答えたという。司馬懿は撤退後の諸葛亮の陣営を視察し、「天下の奇才」という感想を漏らした。と伝えている。

その司馬懿（仲達）は後に魏呉蜀を滅亡させ、司馬一族が三国を終焉させ次時代の普（しん）を設立した。

孔明が活躍した1800年前と現在にて国が変わっても共有している点も多く反映しているのが【諸葛亮孔明】です。

■次週卓話 3/5 災害復興支援フォーラム
「災害支援基金の改正について」 増田会員

2025年度1月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	安 藤 公 一	67	33	100	12	二 宮 麻 理 子	33	0	33	
2	福 村 正	67	33	100	13	岡 田 隆	100	0	100	
3	日 向 彰	0	0	0	14	佐 藤 真 吾	100	0	100	
4	市 川 慎 二	100	0	100	15	佐 藤 利 明	－出席規定免除－			
5	五十嵐 正	67	33	100	16	佐 藤 勉	67	33	100	
6	北 澤 正 浩	100	0	100	17	関 口 大 樹	67	33	100	
7	草 柳 孝 広	67	0	67	18	関 澤 信 吾	100	0	100	
8	増 田 嘉 一 郎	－出席規定免除－			19	宋 謹 衣	0	0	0	
9	目 黒 恵 一	67	33	100	20	田 川 富 男	100	0	100	
10	中 谷 逸 希	0	0	0	21	中 島 徹	100	0	100	
11	新 川 尚	67	33	100	22					
例 会 日		8 日		1 5 日		3 1 日				平均
例会出席率		$\frac{16}{21}$	76.19%	$\frac{14}{20}$	70.00%	$\frac{13}{21}$	61.90%			
修正出席率		$\frac{17}{21}$	80.95%	$\frac{16}{20}$	80.00%	$\frac{17}{21}$	80.95%			80.63%